

# 三松 正夫記念館 概要

昭和44年6月：「昭和新山資料館」として昭和新山植物園2階に開設

昭和63年4月：三松正夫没後10年、生誕百年を期し「三松正夫記念館」として移設開館

■鉄骨平屋建、展示面積：180㎡

(屋外展示物)

■特別天然記念物「昭和新山」42ha

(屋内展示物)

■明治43年、昭和18～20年有珠山噴火記録写真：100点

■三松正夫観測・記録スケッチ：100点

■彩色記録絵図：20点

■ミマツ・ダイヤグラム(昭和新山成長図)：2点

■新山成長定点観測スケッチ：29点

■記念写真：30点

■絵画・書・作品等：30点

■著名人交遊記念品：100点

■三松正夫遺品、遺作等：200点

■岩石標本：50点

■その他：30点

(未展示収蔵物)

■三松正夫、火山、昭和新山関係図書・文献：1000部

■三松正夫、火山、昭和新山関係新聞スクラップ

■三松正夫、火山、昭和新山関係VTR：50巻

■声のライブラリー、カセット・テープ、レコード

■記録写真、スケッチ、絵画、遺品記念物等：500点

■昭和52年噴火関係資料、写真・新聞、VTR等：



入館料 大人：¥300  
(消費税込) 小人：¥250 (小・中学生)

団体割引：20名様以上50円割引

小学生団体：20名様以上100円割引

■学術調査、研究の為に昭和新山に入山を希望される方は、事前に当館に御照会下さい。

■修学旅行等団体の皆様には、御希望により、昭和新山の誕生・三松正夫等について御説明申し上げます。

## 三松 正夫記念館

(昭和新山資料館)

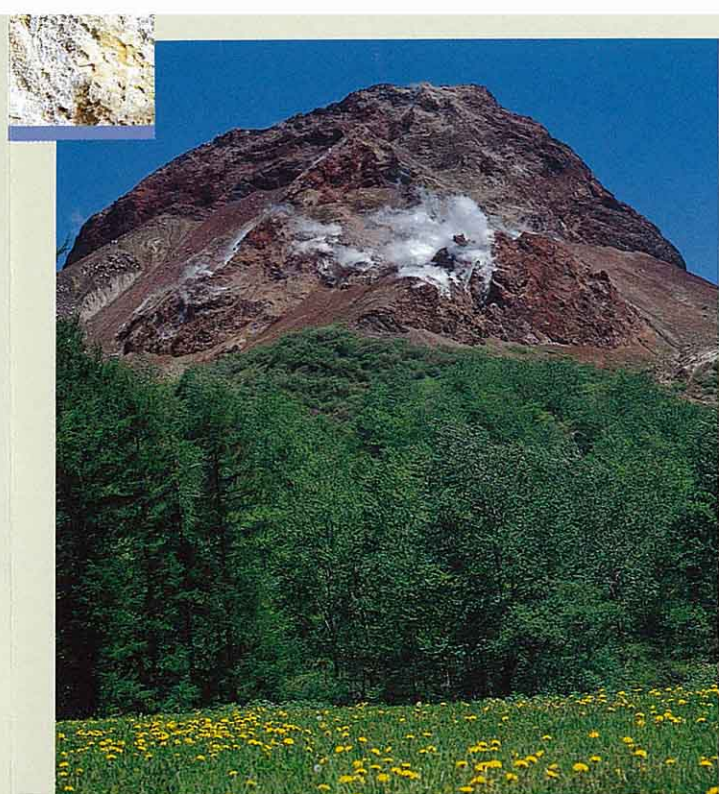
〒052-0102 北海道有珠郡壮瞥町字昭和新山

☎(0142) 75-2365(FAX兼)

(0142) 75-2852(夜間)

開館時間 / AM8:00～PM5:00

営業 / 4月～12月・2月無休、1月・3月不定休



# 三松 正夫記念館 (昭和新山資料館)



# 火山の誕生を見つめ続けた三松正夫の貴重な観察記録。



## 三松 正夫 略歴

●明治21年 伊達に生れる、父は宮崎県人(延岡藩)、西南の役で賊軍に加担したが許され北海道開拓使として渡道。伊達の官立製糖所に赴任。

- 絵描き志望であったが夢をはたせず、明治37年郵便局員となる
- 明治43年有珠山噴火を体験、調査に来訪の東大森教授の下で地学・火山学に開眼
- 明治45年壮瞥郵便局長となり、昭和28年退官迄同職を勤める
- 大正6年洞爺湖温泉の泉源を発見、開湯の祖となる
- 昭和18~20年有珠山噴火を体験、世界相手の大戦中で、公務多忙、食料もなく、フィルム・紙・衣服にさえ事欠く頃、「噴火は地球の内部を探る最大のチャンス」の教えに従い、寝食を忘れ、創意工夫を重ねてこの活動の一部始終を調査し記録を残す
- 昭和21年昭和新山生成地を買い取り、天然記念物指定を出願、その保護に努める
- 昭和23年オスロー万国火山会議に観測資料を提出「ミマツダイヤグラム」と命名され絶賛をうける
- 第一回北海道文化賞、勲五等瑞宝賞、第三回吉川英治賞、国立公園功労賞、北海道文化財保護功労賞、壮瞥町名誉町民賞等々を受く、御来道の両陛下、皇太子殿下に御説明の榮に浴す
- 昭和52年生涯三度目の有珠山噴火を体験、その活動の終幕を待たず、12月8日病没す、満89才

昭和新山誕生の頃、  
壮瞥郵便局長当時の  
三松正夫(57才)



明治43年の大爆発



昭和19年の大爆発

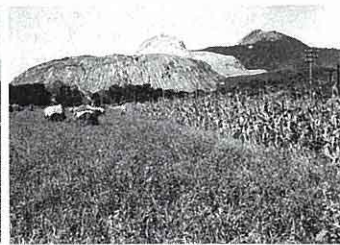


昭和52年の大爆発

この記念館は生涯三度、火の山有珠の噴火を体験し、明治新山・昭和新山・有珠新山の誕生を見つめ続けた三松正夫の貴重な観察記録、スケッチ、写真等多数展示紹介しています。



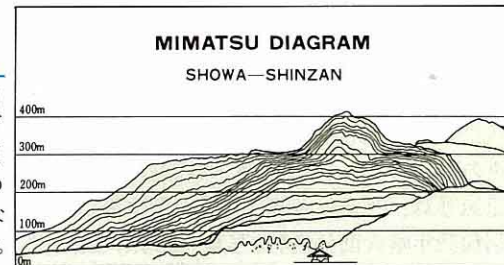
昭和新山の出来る前



昭和新山誕生後

## ミマツ ダイヤグラム

世界に有名な新山生成記録「ミマツダイヤグラム」の原図です。火の山探訪の機会にぜひご覧になることをお推します。



## ミマツダイヤグラムの原図となった壮瞥郵便局舎裏からの定点観測スケッチ

